

平成22年度優良PTA・功勞者表彰

日本の礎となる活動を次世代へ引き継いで



発行所
〒107-0052 東京都港区赤坂
7丁目5番38号
社団法人 日本PTA全国協議会
発行人 相川 敬
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
<http://www.nippon-pta.or.jp/>

綱領
本会は教育を本旨とする民主的団体であり、不偏不党・自主独立の性格を堅持し、PTAの健全な発展の維持、並びに青少年の幸福な成長を図ることを目的とする。

主な内容	
1面	●表彰式 ●きざし
2・3面	●受賞校紹介
4面	●ブロック大会
5面	●ブロック大会 ●県P自慢
6面	●たのしい子育て 全国キャンペーン
7面	●文部科学省 のページ
8面	●推薦映画 ●学校の窓から ●PTA会長日記

全国から250団体・236人が受賞

11月26日(金)東京紀尾井町のホテルニューオータニにて、平成22年度優良PTAおよび功勞者表彰式が、笹木竜三文部科学副大臣をはじめ多数のご来賓をお迎えし、盛大に開催された。今年度は文部科学大臣表彰128団体、日本PTA会長表彰122団体、個人表彰236人、感謝状が4人に贈られた。

日本PTA全国協議会年次表彰式は、多くのご来賓の方々のご臨席のもと、受賞者、各地方協議会関係者など約1000人が出席し、挙行された。

式典は山本清和副会長の開式の辞、国家斉唱、PTAの歌斉唱の後、相川敬会長が多数のご来賓に感謝の意を表し、受賞者の方々の功績を称え、式辞を述べた。

続いて表彰に入り、文部科学大臣表彰の優良PTA128団体に文部科学省生涯学習政策局作花雄様より賞状が贈られた。

平成22年度 優良PTAおよび功勞者表彰式
文部科学省・社団法人日本PTA全国協議会



式辞(要旨)

相川 敬
会長

教育に重点をおき、20年・30年先を見据えた人づくりが必要となる時代を迎えています。私たちは、未来を担う大切な子どもたちと共に「豊かな心・人間力」を高める活動を繰り返して行こうではありませんか。

スペインの聖堂の「サグラダファミリア」は、100年を経た今でも完成を待たない。時流に流されることなく、常にその時代の最高の技術・芸術を一つ一つ着実に積み上げてい



祝辞(要旨)
文部科学副大臣
笹木 竜三氏

平成22年度優良PTA文部科学大臣表彰、並びに日本PTA全国協議会会長表彰を受賞された皆様方に、心よりお祝い申し上げます。

表彰を受けられた皆様方におかれては、日ごろより要領の円滑な実施や教員が子どもと向き合う時間の確保と子どもたち一人ひとりにきめ細かな教育を実現するために、30年ぶりに40人学級を見直し、小中学校の35・30人学級の段階的な実現を柱とする新・教職員定数改善計画案を公表したところであります。その実現に向けて全力を尽くして取り組んで参ります。

また、PTAの皆様方をはじめとする保護者・地域住民の方々の御協力をいただきながら、学校支援や放課後の子ども居場所づくり、早稲草起き朝ごはん国民運動などの取り組みを推進して参ります。

代表謝辞(要旨)
愛媛県 友石 晃由

振り返りますと、私はPTA活動で沢山の財産を得ることができました。その一つは、昨年度日本PTAの副会長を務めさせていただき、松山市、愛媛県内は 물론、全国にネットワークの輪が広がりました。これは、子育てにとどまらず、私の人生そのものにも広がっております。

共々育むという教育を学ばせていただきました。子どもを育てると言うことは、自分自身を育てると言うことを実感し、私はPTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。

きざし
秋が深まってきた今日この頃、「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」として何をしようかと悩んでいる人が多いのではないでしょうか。最近電車の中で感じることは、学生が読書している姿はほとんど見かけなくなりました。読書は高校生の頃に読むべきで、中学生の頃には読むべきでない、という声がよく聞かれます。しかし、今の若い人達もまんざらでないように思える。つまり、自分が興味・関心のある本を最近読んでいない大人も、大人になっても読書をするという意欲が持ち続けられるためには、やはり、義務教育の期間に、積極的に読書の習慣を身に付けておくことが重要であると考えます。

政府に対しより一層の努力を求めているかなければならぬと考えております。さて、国から地域の現場まで、各々学校においてさまざまな取組が行われております。子どもたちにとっての貴重な体験活動や登下校における安全の確保など、いずれも地域と文科科学委員会として、子どもの協力が不可欠なものばかりでございます。少子化や過疎化により、地域の連帯感が弱くなっているという指摘も見受けられる中、皆さま方の活躍は、学校、家庭、地域の有機的な連携を可能にするものとして、これらを支えてまいります。わが国の教育の一翼を担うPTA活動の役割は、今後も、より一層、重要なものとなってまいります。

代表謝辞(要旨)
愛媛県 友石 晃由



共々育むという教育を学ばせていただきました。子どもを育てると言うことは、自分自身を育てると言うことを実感し、私はPTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。

代表謝辞(要旨)
愛媛県 友石 晃由

共々育むという教育を学ばせていただきました。子どもを育てると言うことは、自分自身を育てると言うことを実感し、私はPTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。

共々育むという教育を学ばせていただきました。子どもを育てると言うことは、自分自身を育てると言うことを実感し、私はPTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。

共々育むという教育を学ばせていただきました。子どもを育てると言うことは、自分自身を育てると言うことを実感し、私はPTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。PTA活動を通して自分自身を育ててきたのだなと、改めて感じました。

本紙は各校PTAに四部、内訳として「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局用」を目安にしています。

受賞校の喜びの声 活動紹介

文部科学大臣表彰

北海道函館市立弥生小学校PTA

思いがけないような素晴らしい賞を頂いたこと、素直に感謝いたします。今年度は、旧弥生小学校PTAと旧西小学校PTAが積み重ねて、平成20年4月に旧弥生小学校と旧西小学校が統合し開校いたしました。それに伴いPTAも新弥生小学校PTAとして新たに発足いたしました。統合校としては2年目ですが、統合前の両校PTAの取組や統合後の弥生小学校PTAの



北海道函館市立弥生小学校PTAの活動の様子。

取組を評価して頂いたものと感謝いたしております。弥生小学校PTAは、次の4つの重点活動を定め日々活動に取り組んでいます。

- 1、共に学び、育ち合うPTA活動を進めます。
- ①新しい専門委員会活動の活性化
- ②市P連研究活動への積極的参加
- ③各種研究会への参加と巡回報告活動の実施
- ④PTA広報誌、事務局便り、各種便りの発行
- 2、みんなで力を合わせ、子どもたちの安全を守り、健全育成に努めます。
- ①安全パトロール・特別巡視の実施
- ②子ども110番の家活動
- ③交通安全指導・挨拶運動

④「社会を明るくする運動」三集会への積極的参加
3、会員の参加意欲を高め、楽しいPTAづくりに努めます。
①「PTA弥生まつり」の開催
②学校親子レクリエーションの工夫
③PTA歓迎会の開催
④読み聞かせ会の実施
4、校内外の整備をはじめ、教育環境の整備に努めます。
①ヘルマーク収集活動
②学校花壇の奉仕活動
③校内外の清掃・美化の奉仕活動

今後この賞に恥じぬよう努力・精進しながら、地域、学校、家庭が一体となった活動を進めていきたいと思っております。

熊本県山鹿市立鹿北中学校PTA

本校は熊本県の最北端に位置する、のどかな山あいの全生徒数162名の小さな中学校です。6年前の市町村合併により人口6万の山鹿市となりましたが、合併前は人口5000人あまりの清らかな水と豊かな自然に囲まれた、農林業主体の山村でした。

この度、本校PTAの長年の活動が認められ優良PTA文部科学大臣表彰の栄に選ばれました。この小さな中学校にとりまして、この上ない喜びであり、歴代の校長並びにPTA会長をはじめ関係各位のご努力に感謝申し上げます。これからも鹿北の地で生活する者にとりまして大きな励

みとなります。鹿北中学校も地方の例にもれず過疎化の波が押し寄せ、私の中学校時代からすると生徒数は約3分の1にまで減少しておりますが、自分の子供が同じ中学校に通っている事は大変嬉しいもので、学校に対する愛着も人一倍のものがあり、この事は私のみならず鹿北中PTA全ての思いでもあります。

学校の行事にもほとんどの親が出席して下さい、自分の母校への思いと教育に対する熱心がPTA活動を通じてひしひしと伝わってきます。昨年の千人合唱に際しましては、野中校長先生の鹿北への熱い思いを



熊本県山鹿市立鹿北中学校PTAの活動の様子。

東京都目黒区立油面小学校PTA

このたびは、「平成22年度優良PTA文部科学大臣表彰」という、身に余るお褒めをいただくこととなり、大変光栄です。また身が引き締まる思いです。ありがとうございます。

私たち、油面小学校PTAの特長は、まとめて言うところがあると申します。

- ①全員参加型であること
- ②「フォーマルさ」よりも「カジュアルさ」を大事にしていること
- ③学校・地域・PTAの連携が強いこと

愛知県一宮市立丹陽中学校PTA

この度の受賞は、諸先輩方の長年のご努力と、地域の皆様、先生方、会員の皆様の協力賜物と、心より感謝申し上げます。

丹陽中学校PTAは会員数が750名を超える大きな組織ですが、役員と委員、一般会員によって構成されています。役員と委員は研修、育成、広報の3つの委員会のいずれかに所属し、活動しています。また、役員のうち4名は、「学校運営協議会」に保護者代表として参加しています。先生方、地域の方と協力して、丹陽の子の豊かな学びと育ちの創造を目指して活動しています。

研修委員会は、社会見学と2回の文化教室の企画と運営をしています。本年度の社会見学では、愛知県警察本

PTAをよりカジュアルにしようとしています。つまり、私たち自身がPTAを楽しむようにしています。

3つ目の「連携」については、この点において本校は大変恵まれた環境にあります。諸先輩方が永年にわたって築いてくださった連携を、今も弱まることなく、むしろ年々ますます強まっています。感じています。その原動力となっているのは、会議や行事による繋がりはもちろんのことですが、日々の何気ない接点、いわゆるカジュアルな関わりの合いが積み重なって、お互いをよくわかっていることだと思います。

高知県の町立神谷中学校PTA

高知県の町立神谷中学校PTA紹介

神谷中学校PTAは「考えて動く」を合い言葉に子ども達をサポートし、学校長をはじめ、教職員の皆様への熱い教育に対する思いを受け、保護者同士の横のつながりや地域の方々の絆を深め、自然豊かなこの地を千年、万年と受け継いでいける人物になっていくこと、郷土を愛することを伝統と考え継承する人物になって欲しいと願っています。

広報委員会は、広報紙「丹心」を年2回発行して活動の中心に、実際に活動に参加した会員の声を載せ、親しみやすい紙面作りの工夫をしています。

今後「郷土」とともに生きる「子」の成長を願って、より充実した活動を進めていきたいと思っております。

富山県砺波市立砺波東部小学校父母と先生の会

子供たちが安心して学び、遊び、豊かな活動を広げていくためには、家庭と学校、そして地域社会とのつながりがとても大切です。しかし、近年、核家族化が進行し、子育ての悩みを相談する相手がない家庭が多くなると、社会環境が大きく変化しました。

そこで、少しでも早い段階から幼稚園、保育所、小学校、中学校の保護者同士が交流し、一貫した考えで子育てを進めることが必要

くだったのは、諸先輩の皆さまです。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

具体的には、保護者・地域の方々に思春期の心理を学習する機会を持ち、家庭や地域において子どもたちとの関わりや声がけについて学ぶ機会をもっています。熱心に学習し、それぞれの立場で実践したことを情報交換することは、会員の励みになっております。

今後子どもたちを取り巻く環境は厳しさをましておりませんが、ピンチはチャンスという逆転の発想をもって、学校や地域が元気になる、地域と共に歩むPTA活動をしていきたいと考えております。

なお、今回の受賞におきましては、神谷地域の住民の方々ははじめ、保育園、小学校の保護者の方々や神谷中学校校友会などの関係機関などのご尽力や多大なるご支援いただいたながら取り組んだ成果であります。本当にありがとうございました。

代表が一堂に会し開催する、砺波市幼保小中合同情報交換会へと展開してまいります。

また、1日の始まりは挨拶からとし、PTAでは朝のあいさつ運動を行っています。毎朝、児童の元気な明るい「おはようございます」の音がさわやかに響いており、成果に手応えを感じています。さらに、保護者向けに「マナーアップ運動」を推進。運動会や学習発表会等の学校行事の際には、自転車や徒歩での来校を呼びかけ、学校周辺道路の迷惑駐車は皆無となりま

た。この度、文部科学大臣表彰を受賞させていただき、砺波東部小学校PTAのみならず、地域社会全体で心より嬉しく感じると同時に、これまでの長期間にわたる関係各位のお力添えがあったものと深く感謝いたしております。今回の受賞は決して頂上でもなく、引き続き、地道な活動を繰り返すことにより地域連携をさらに強固なものとし、子供たちの最強で最高の大応援団でありたいと考えています。



富山県砺波市立砺波東部小学校父母と先生の会の活動の様子。

日本PTA会長表彰

岩手県一関市立済民小学校父母と先生の会

一関市立済民小学校は少子化の影響を受け、長い歴史に幕を閉じ、25年春に地区内の他の2校と一緒に新たな学校として誕生しました。このような時期に栄えある賞を頂いた事は、現会員もより明るい話題として地区全体で喜んでいて下さいます。これも歴代のPTA役員並びに会員の皆様の活動の成果と、地域の皆様のご理解とご支援の賜であり、心より感謝申し上げます。

今年度、済民小PTAは61周年を迎えました。4月の総会は会員全員が出席し



また、地区一体の活動では収穫感謝祭として学習田、学習農園で収穫した材料を調理し、お世話になった方々と共に収穫の喜びを分かち合いました。地区の文化祭には作品出品の他に、子供達と一緒に軽食販売を行いました。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

少ないPTA会員の為、地区民の皆様のお力をお借りしての活動です

見守っています。また、授業の時間帯にはスクールガード活動を行っており、ボランティアで集まっていたいた保護者の方が、週に1回学校内のパトロールを行っています。うれしいことに、今まで大きな事故や事件などが起きていません。今後とも、学校、保護者、自治会、地域のボランティア、PTA一丸となって、いろいろな遊びや工作、売店等を企画運営し、地域の富をいきたいと思います。



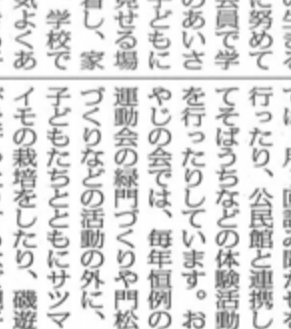
では、月1回読み聞かせを行ったり、公民館と連携してそばうちなどの体験活動を行ったりしています。おやじの会では、毎年恒例の運動会の緑門づくりや門松づくりなどの活動の他に、子どもたちとともにサツマイモの栽培をしたり、磯遊びを行ったりするなど親子でふれあう場を設定し、積極的に活動しています。

また、地区一体の活動では収穫感謝祭として学習田、学習農園で収穫した材料を調理し、お世話になった方々と共に収穫の喜びを分かち合いました。地区の文化祭には作品出品の他に、子供達と一緒に軽食販売を行いました。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

茨城県笠間市立友部中学校PTA

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

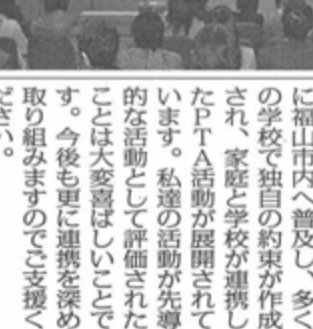
静岡県沼津市立沢田小学校PTA

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

鹿児島県志布志市立安楽小学校PTA

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

広島県鳳東中学校区連絡協議会

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

校長の一日ホームルーム

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。



この度は、栄誉ある賞をいただきたいと思っております。世界の中で苦しんでいる子供達の命を救おうとの想いから始まり、これも地区の協力をいただき、また地区外の会社や店舗、事業所などからも協力を得ております。

各地のブロック研究大会から

子どもたちの

より良い環境を求めて

北海道ブロック・後志・余市大会

子どもたちのたくましく生きる力と夢を育むPTA活動

9月18・19日



開催地となった余市町は江戸時代から大正時代にかけて日本海で隆盛したニシン漁により発展し、明治初期からは果樹栽培で栄え、ウイスキーやワインが有名です。軟石づくりの工場や貯蔵庫からは異国情緒が漂ってきます。

大会スローガンを「子どもたちのたくましく生きる力と夢を育むPTA活動」、大会主題を「家族の絆」とし、全道から約1200名の参加者が集い、2日間にわたって開催されました。

1日目は7カ所の会場で7領域による分科会に分かれ研究協議を行いました。第1分科会「組織・運営」

や「帯広市の食育の現状」がそれぞれ話し合われました。さらに、地域交流課題として特別第1分科会「子どもの未来をみんなの手で」特別第2分科会「PTA・地域の連携を定直し、研究を深めました。特1分科会では「家族の絆」を協議の柱として、後志管内小中学校の児童生徒6名の提言があり、司会者の簡単な解説の後に、参加者から感想や意見を聴衆しました。特2分科会では地域とPTAが協力して体験プログラ

東北ブロック・八戸大会

海と大地のハーモニー 子どもとともに はぐくむ 夢・コミュニティー

9月11・12日



△を行う「禅山クラブ」の活動が紹介されました。2日目は全体会と講演会

を開催しました。講演会では鎌倉女子大学教授の木下博勝氏による「家族、夫婦、円満、子ども、健康」と題しての講演があり、ジャガー横田さんとの出会いから結婚、出産までのことや夫婦円満の秘訣、お子さんの成長の様子などをユーモアと笑いを交えてお話いただきました。

第42回東北ブロック研究大会八戸大会が、「海と大地のハーモニー 子どもとともに はぐくむ 夢・コミュニティー」を研究主題に、9月11、12日の両日、八戸市で開催された。

東北各地から約2000名の参加者が集い、八戸市内5会場、7つの分科会において基調講演、研究発表、討議が行われた。

第1分科会「組織運営」

「活力あるPTA活動を目指した組織・運営」第2分科会「研修活動」(会員

の意識と活動の質の向上を図る研修活動」第3分科会「健全育成」(安全・安心を保障する学校、地域の連携)第4分科会「家庭と小学校教育」(家庭の教育力向上と小学校教育)第5分科会「家庭と中学校教育」(家庭の教育力向上と中学校教育)第6分科会「健康安全」(心身ともに健康な子どもを育てるPTA活動)の定番の研究課題に加え、特別課題を「学校・家庭・地域・行政が連携した開かれた学校づくり」として、八戸市教育委員会松山隆豊教育長より地域密着型教育とPTA活動についてご講話をいただいた。八戸市では「地域の子どもは地域ではぐくむ」の基本理念のもと、「地域密着型教育」を導入している。地域が連携して子どもたちを育てるための意見を募り、その意見を学校運営に生かした特色ある学校作りが進められていくことが大事だと事例を交えて呼び掛けた。

パネルディスカッションでは、四者(学校・家庭・地域・行政)の連携による開かれた学校づくりには、PTAの役割が大きいことを確認した。

翌日の全体会は、元プロ野球選手桑田真澄氏が講演。スポーツマンらしい謙虚さの中にも、今まで歩んできた人生に対する自負と確固たる信念が言葉の端々に散見され、会場の誰もがどんと引き込まれていった。桑田氏は、「夢は実現しないとあきらめてしまわない、と。だから、夢をあきらめない、とした。」とし、そのために大切にしている「努力」「試練」「本物に触れる」の3つの言葉を軸にお話された。言葉の持つ意味を多角的・多面的に解釈している同氏独特の表現はとてもし含み込んでおり傾きの連続だった。知育・徳育・体育全般に関わる講演内容であり、大きなお土産をいただいたことができた記念講演だった。

東海北陸ブロック・福井大会

話そう！笑って抱きしめて ほやの、みんなでやろっさ

10月23・24日

「話そう！笑って抱きしめて」ほやの、みんなでやろっさをテーマに掲げ、東海北陸ブロック6県1市から約2800名の会員を迎えて第66回東海北陸ブロック大会福井大会が盛大に行われました。今大会の特徴は、東海北陸全域では初めての、開催県全域ともいえる福井県内5ブロックの7会場で実施した点です。参加された方々は、各地域の自然豊かな環境の

中で、家庭・学校・地域が一体となって、確かな学力・温かい人間関係を育んでいる福井の子どもの姿を見ていただけたのではないかと思います。

2日目は、「家庭教育・学校支援」・「地域連携」の3領域6分科会に分かれて、実践発表およびパネルディスカッションが行われました。各分科会では、それぞれの領域において今後PTA活動に役立つ事例

が数多く発表され、参加者から「たいへん参考になった」とか、「さっそく持ち帰って実行してみたい」とのご意見を頂きました。また第2分科会では、分科会実施前のオフション企画として、大本山永平寺において「坐禅体感会」が行われました。

2日目の全体会は、サンルーム福井で行われ、優勝は山左義長はやし保存会による



落語家 三遊亭好楽氏

子どもたちのかわいい「勝山左義長囃子」の披露があり、続いて開会式、来年度で講演と落語が行われました。前半は好楽氏の日常生

活や子育て体験から感じていることを笑いを交えてお話しいただきました。「常識(マナー)を教えるのは親の仕事」、「愛情をもって子育てする」、「感謝の気持ちを忘れないで」等、親子のコミュニケーションの大切さを説かれ、参加者も共感しうなずく場面も多く見られました。後半に「言葉」という落語を拝聴しました。氏の親しみのある話法や豊かな顔の表情で、会場は大会テーマにふさわしく笑顔であふれました。

豊かな自然ゆえに熊の出迎えを受けそうな分科会会場もありましたが、両日とも天候に恵まれ、無事、成功裏に終了しました。

近畿ブロック・兵庫大会

『絆』深めよう！ 親子と先生と

夢を支え、夢とともに生きる

11月11日

第36回近畿ブロックPTA研究会...

この大会では「絆」をテーマに...

中国ブロック・鳥取県米子大会

『今を生きる子どもたちへ』

未来へ夢を紡ぎ心を育てるPTA

11月13日

第40回日本PTA中国ブロック...

午前中は相川敬日本PTA...

午後には第59回日本PTA...

中国ブロック各地より2000名...



アルビニスト 野口健氏

命のはかなさ、そして生きていくことの難しさ...



野村克也氏

安心して生活できる環境や、健全な育成...

家族を支援するシエルバ基金について...

九州ブロック・くまもと大会

見せんと親の姿 見んと子どもの姿

10月30・31日



熊本市立木太小学校長...

1日目に分科会と全体会...

2日目に、全体会の後に...

四国ブロック・愛媛大会

『愛の手で未来を築くPTA』

10月11日

今回の四国ブロックPTA研究会...



谷会長は自らの家庭生活を振り返り...

県P自慢 広島県P シリーズ62

『関(かわ)りあう・感(かん)じあう・欲(よ)る(ご)びあう』

未来を担う子どもたちのために

広島県PTA連合会...

このスローガンのもと、各家庭を支えるのが...

とりわけ、来年度は日P全国研究会の開催...

さて今回、広島県P連の特色ある活動として...



「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール～

三行詩優秀作品の選定について



都市化、核家族化、少子化など子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化中、あらためて、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルールづくり、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくため、社団法人日本PTA全国協議会との共催により、平成22年7月1日から9月3日において募集いたしました「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」に関する三行詩について、優秀作品を選定し、11月27日に開催する「第1回全国家庭教育支援研究協議会『社会全体で支える家庭と子育て研究フォーラム』」において、表彰式を行いました。

3. 各賞受賞作品

文部科学大臣賞

◆小学生の部

自動車の音、自転車の音、足音、わたしにはわかる
おかしなさい

井口 なみ (和歌山県海南市 小学校4年生)

◆中学生の部

働く母の
置き手紙

立石 京 (長崎県佐世保市 中学校2年生)

◆一般の部

冷房代
節約するため リビング集合
団契復活 猛暑に感謝
～思春期の子を持つ母～

阿部 伸子 (埼玉県志木市)

厚生労働大臣賞

◆小学生の部

学校でそだてた大切なミニトマト。
1つはパパのおべんとおにぎり、
もうひとつはいもとうとごはん。

佐々木 鞠 (岐阜県岐阜市 小学校2年生)

◆中学生の部

「頑張らなくていいからね。」
その一言で 頑張れたよ、
ありがとう、ばあちゃん

武田圭一郎 (愛媛県松山市 中学校2年生)

◆一般の部

我先にと話したくて堪らぬ三姉妹
番号順にお呼びしますので
どうか、箸を進めてお待ち下さい

別所亜紀子 (神奈川県川崎市)

社団法人日本PTA全国協議会会長賞

◆小学生の部

母のあじ
しょう来わたしの
十八番

関本 雅 (宮城県東松島市 小学校3年生)

◆中学生の部

「テレビはオフ」
家族のごはん
「会話はオン」

上原由利子 (沖縄県島尻郡座間味村 中学校1年生)

◆一般の部

「いつてらっしゃい」門に立って送り出す
でも すぐに家には入らない
あの角で あなたがもう一度振り返るのを知っているから

加藤 寿子 (岐阜県海津市)

「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞

◆小学生の部

かえりが おそいお父さんとの
たのしみは 早起きして
いっしょに 食べる 朝ごはん

満原 愛翔 (佐賀県杵島郡白石町 小学校2年生)

◆中学生の部

朝、目覚めたら
まずは『おはよう』
心のスイッチ。

笹川 夏実 (新潟県南蒲原郡田上町 中学校1年生)

◆一般の部

添い寝して 毎晩楽しむ読み聞かせ
布団で体はぽっかぽか
絵本で心もぽっかぽか

笠 ゆかり (福岡県福岡市)

◎佳作作品

◆小学生の部

ほくのおとうさんは、かえってくるのがおそいんだ 早おきしたらあえるから
早おきするのがたのしみだ
(六輪 昂助 青森県 小学校2年生)

夜ごはん。みんなで話そう。今日のこと。
(渡部 伊織 千葉市 小学校6年生)

ほくのとよりは おかあさん ほんたいのとよりは おとうさん
あさまでいっしょに おやすみなさい
(菊地 輝 岩手県 小学校1年生)

ママの気持ち、してみても分かる お手伝い。
(糸川 彩華 栃木県 小学校1年生)

ごほうびは おもちゃより だっこして
(下岡 大和 広島県 小学校1年生)

お母さん、たくましくなれと 言うけれど 大丈夫
たくましいお母さんの 子どもだもん
(中野 和也 山口県 小学校3年生)

なぜだろう しかられるのに大きなお父さん、お母さん
なぜだろう けんかするのに大きなお兄ちゃん、妹、弟
(岡田 充騎 香川県 小学校2年生)

◆中学生の部
「たたいま」「おかえり」家族でできた 愛言葉
(鈴木 涼介 福島県 中学校1年生)

うちの母 文句の数だけ 愛がある
(白井 皓樹 栃木県 中学校3年生)

心が深く傷ついたときでも 家に帰って、ごはんを食べて
次の日起きればもとどおり。 家族は僕の絆創膏
(矢崎 啓太 北海道 中学校3年生)

大会が終わって「オレのシュートどうだった」と聞いた。
「へたくそだった」と冗、「まあまあかな」と父はいう。
くやしいけど、また聞きたくなるんだよね、家に帰ると。
(山崎 文也 岩手県 中学校3年生)

毎朝の「いつてらっしゃい」は 私の背中をおしてくれる 大切な言葉
(尾崎 ナナ 愛知県 中学校2年生)

少しの会話 それでも大きな コミュニケーション
(本間 賢人 東京都 中学校3年生)

◆一般の部
「いたたきます！」 毎朝家族全員で朝ごはん。それが我が家の朝の始まりです。
(馬場 美紀 福島県)

部活から 帰る我が子に 有難うと そっと さし出される空の弁当箱
その一言が心に染みる 夕暮れとき
(諏訪 千秋 石川県)

メールより 目を見て話せば すぐ解決！
(高橋 健太 愛知県)

久々に つないでびっくり 息子の手
あの頃の もみじのおてが 懐かしい
(木村 奈々子 茨城県)

“パパの代わり、頼んだよ” そう書き残し出張へ
「今日から僕がパパだよ。」 そう言う息子が大きく見えた
(柳尾 安奈 兵庫県)

三行詩募集について

- 募集対象 小学生、中学生、保護者、教職員等
 - 募集内容 「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」に関する三行詩
 - 募集期間 平成22年7月1日～平成22年9月3日
 - 主催 文部科学省、社団法人日本PTA全国協議会
 - 選考委員 (五十音順)
- | | |
|--------|------------------------------------|
| 黒田 秀郎 | 厚生労働省 雇用均等・児童家庭局総務課少子化対策企画室長 |
| 角谷 詩織 | 上越教育大学大学院学校教育研究科准教授 |
| 田中 孝一 | 文部科学省主任視学官 |
| 俵 万智 | 歌人 |
| 中橋 恵美子 | NPO法人わははネット理事長 |
| 服部 幸恵 | 服部栄養専門学校理事長・校長、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会副会長 |
| 疋田 敏明 | 社団法人日本PTA全国協議会副会長 |
| 古河 久人 | 住友生命保険相互会社執行役員 |
| 宮崎 活志 | 文部科学省視学官 |



文部科学省

リアル熟議実践イメージ

STEP1: 準備



・テーマに関わりのある、様々な当事者に呼びかける
・熟議のゴールやルールを設計する
※文部科学省では、会場の確保や必要な物品等、熟議の開催・運営に必要な情報をまとめた「熟議の熱」を提供

STEP2: 熟慮・討議



・7人程度のグループに分かれ「気楽に真面目に」熟慮・各参加者の問題意識を共有し、原因や解決策を構築
・参加者の意見を引き出す「ファシリテーター」を中心に模造紙・付箋やホワイトボードを活用し、議論の内容を「見える化」
※文部科学省では熟慮説明資料、「ファシリテーションガイドライン」(作成中)等を提供

STEP3: 熟慮結果の共有



・各グループの代表者が熟慮結果を発表
→熟慮を共有することで学び合い、協働につながる
※報告書を文部科学省「熟慮カケアイ」サイトに掲載

熟慮の効果

✓ **コミュニティソリューション(コミュニティによる問題解決)**
・立場の違いによる問題認識のギャップを縮小し、当事者による問題解決を促進。
・リアル熟慮が広がる中で、「市民1人1人が教育の担い手として当事者意識を持って教育にかかわり、よりよい社会を創っていく」という新しい教育文化や、地域のつながりを醸成。

青森、秋田、愛知、鳥根、愛媛等、全国各地で30回以上の熟慮が開催。
NPOや教育委員会、学校等における非公式熟慮も多数開催。

熟慮—教育課題解決に向けて

文部科学省では本年4月より、中央教育審議会等の専門家による検討に合わせ、当事者による熟慮に基づく意見を踏まえて政策形成を行っていかため、「文科省政策創造エンジン 熟慮カケアイ」(以下「ネット熟慮」)という、対面で行う熟慮(以下「リアル熟慮」という)を組み合わせて展開

①多くの当事者(保護者、教員、地域住民等)が集まって、
②課題について学習・熟慮し、討議を行うことにより、
③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まることにも、
④解決策が洗練され、

ネット熟慮については、熟慮カケアイサイトは、教育に関わるあらゆる当事者(教職員、教育政策関係者、保護者、学生等)が会員登録して参加できるWebサイトであり、当事者が学びあひながら、責任を持った議論を積み重ねていくことで、よりよい政策を

作っていくためのWebサイトの開設は、政策形成の「見える化」として政府が取り組む国内初の試みです。

ネット熟慮の運営状況については、本年4月のサイト開設からこれまでの約半年間で、「教員の資質向上」、「未来の学校」等約20テーマ実施され、全国47都道府県・海外から約2200人が参加し、約1万4000件の対話・意見表明がなされてきました。

リアル熟慮の開催状況については、本年4月より、青森、秋田、愛知、鳥根等各地で30回超開催される等、着実に全国の教育現場等の当事者に根付いてきています。これまでに開催されたリアル熟慮は、地域の教育の活性化や、PTAや学校地域支援本部による学校支援をより良いものとする「ツール・きっかけ」として活用されてきています。PTA・学校関係者・行政・地域、場合によっては子どもたちも参加し、いつもとは違う「気軽な、真面目に」話しあひの中で、新しい学校現場の動きが生まれ、また、政策形成につながるような結果も生まれてきています。青森、秋田等PTAがリアル熟慮を主催するなど、PTAの運営ツールとしての活用が進んでいます。

下のとおりです。

○本年6月に神奈川県横浜市で開催されたリアル熟慮において、多数の参加者から学校と地域をつなぐ「地域コーディネーター」の重要性が指摘されたこともあり、横浜市の「中期4か年計画」(原案)中に「地域コーディネーター」の養成が盛り込まれる等、制度に結びつく事例も出てきています。

○リアル熟慮後も継続的に熟慮を重ね、当事者による教育現場作りを率先して取り組む等、現場の具体的なアクションに結びつく事例も多数出てきています。

文部科学省においては、リアル熟慮を企画・主催する者に対して、以下のような支援を行っています。

○熟慮カケアイサイトへの実施告知・結果の掲載
○熟慮のテーマに関する資料の提供(関連データ資料等)
○熟慮の実施に際しての参考資料の提供(リアル熟慮実践パッケージ「熟慮虎の巻」等)
リアル熟慮に興味・関心を持たれた方は、info@exco.go.jpまでお気軽に是非お問合せいただければ幸いです。

国立劇場 平成23年度 歌舞伎・文楽鑑賞教室

○12月文楽鑑賞教室(1) 13日 11時・2時
○料金
歌舞伎1等3800円、2等1500円、文楽3600円、歌舞伎文楽とも学生は全席1300円
○団体観劇のお問合せは国立劇場営業課(03-3265-6751)
<http://www.nijigaku.jp/>

結城美栄子、四谷シモン等が加わり、工芸館の鑑賞プログラム「タッチ&トーク」がますますパワーアップ。

会期：来年2月20日まで
会場：東京国立近代美術館 工芸館
<http://www.momat.go.jp/>

リアル熟慮について

リアル熟慮の開催状況については、本年4月より、青森、秋田、愛知、鳥根等各地で30回超開催される等、着実に全国の教育現場等の当事者に根付いてきています。これまでに開催されたリアル熟慮は、地域の教育の活性化や、PTAや学校地域支援本部による学校支援をより良いものとする「ツール・きっかけ」として活用されてきています。PTA・学校関係者・行政・地域、場合によっては子どもたちも参加し、いつもとは違う「気軽な、真面目に」話しあひの中で、新しい学校現場の動きが生まれ、また、政策形成につながるような結果も生まれてきています。青森、秋田等PTAがリアル熟慮を主催するなど、PTAの運営ツールとしての活用が進んでいます。

こうした現場当事者による積極的な取組により、具体的な成果・効果に結びついている事例も増えてきており、主な概要としては以下

※11月12日(金)の「熟慮」に基づく教育政策形成の在り方に関する懇談会(第4回)において、「熟慮に基づく政策形成展開〜更なる推進に向けて〜」(案)が発表されました。これは、懇談会委員、文部科学省だけでなく、熟慮の取組に関わったNPO、学生等の様々な当事者による「協働」により作られたものです。是非ご覧下さい。

<http://jnkngi.mext.go.jp/library-view?library-id=380>

没後120年 ゴッホ展
こうして私はゴッホになった

国立新美術館

没後120年 ゴッホ展 嚮を与えた画家たちの作品
—こうして私はゴッホに—等、計123点を通して、
なった—ファン・ゴッホ—その芸術の魅力に迫りま
の油彩画、素描と、彼に影す。

ファン・セント・ファン・ゴッホ
《灰色のフェルト帽の自画像》1887年
ファン・ゴッホ美術館(ファン・セント・ファン・ゴッホ財団)
© Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

「現代の人形」展
タッチ&トークに
新作が登場!

結城美栄子、四谷シモン等が加わり、工芸館の鑑賞プログラム「タッチ&トーク」がますますパワーアップ。

会期：来年2月20日まで
会場：東京国立近代美術館 工芸館
<http://www.momat.go.jp/>

平城宮跡資料館 冬期企画展
測る、知る、伝える —平城京と文化財—
11月26日(金)～1月16日(日)

国土地理院と奈良文化財研究所 連携推進課
所が主催でお送りする今回の企画展は、測量と地理の視点から平城京と文化財を読み解きま

お問合せTEL 0742-3016752(奈良文化財研究所 連携推進課)
開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日 月曜・年末年始(月曜が祝日の場合は火曜休館)

平城宮跡資料館 企画展
平成22年11月26日(金)～平成23年1月16日(日)

上村松園展
京都国立近代美術館

ドイツの画家デューラーの展覧会。この機会に、デューラーによる「線」の芸術という3つの主題で「見術」を鑑賞ください。

京都国立近代美術館(0) 開催します。
7517611-4111 上村松園の画業を、『舞仕度』『楯』など、質の高い日まで、「上村松園展」を代表作によって振り返りま

休館日：月曜日(ただし11月22日は開館)、11月24日(水)

第26回 国民文化祭
平成23年秋、第26回国民文化祭の舞台は、京都です!

様々な文化活動に親しむ個人や団体が、日ごろの成果や実力を披露するため全国各地から集まり、発表し、競演し、交流する国内最大の文化の祭典である国民文化祭。この国民文化祭が、平成23年秋、いよいよ京都で開催されます。1年前にあたる今秋から、京都府全域でイベントが多参加していただきます。

【京都国民文化祭ホームページ】
<http://kokuhunsaikyo2011.go.jp/>

京都国文祭PR隊長「まゆまる」

常置委員会 常任幹事会 報告

平成22年10月15日(金)
日本PTA会議室にて、常
任幹事会、常置委員会が開
催されました。
主な協議内容は次の通り
です。

- 常任幹事会**
1. 開会の辞
 2. 会長挨拶
 3. 成立宣言
 4. 議長選出
 5. 議事録署名人選出
 6. 議事
 7. 協議事項
 8. 閉会の辞
- 常置委員会**
1. 業務報告
 2. 常置委員会報告
 3. 年次表彰式について
 4. 全国研究大会ちば大会
 5. 全国研究大会ひろしま大会
 6. 日中友好「少年少女の翼」について
 7. 実践例集(26)の作成について

- (8)平成22年度「マスメディア調査」について
 - (9)平成22年度「教育に関する保護者の意識調査」について
 - (10)「たのしい子育て全国キャンペーン」について
 - (11)その他
- 総務委員会**
1. 委員会のあり方について
 2. その他
- 環境対策委員会**
- 《協議事項》
1. 「もっとグッドネット」について(安心ネット「J」へ促進協議会)
 2. 「子どもの目標の環境」
 3. その他
- 厚生委員会**
- 《協議事項》
1. 「たのしい子育て全国キャンペーン」について
 2. 食育について
 3. その他
- 教育問題委員会**
- 《協議事項》
1. 平成22年度「教育に関する保護者の意識調査」について
 2. 本年度「子どもとメディア」に関する意識調査について
 3. 「コンヒュエンスストア」等における成人雑誌の販売について
 4. 本年度「子どもとメディア」に関する意識調査について
 5. その他

「あるPTA会長の日記から」

記録的な猛暑もすぎ、あつという間の冬が来た。私の好きな秋は短かった。

夏の日P大会に役員として関わることができ、大変良かった。参加者に喜んでいただくには？ 頭をフル回転させ臨み大成功に終わった。気候以上に熱く、楽しい時間を仲間と過ごせた。

この大会で性教育と性分野から人権を考えた。結論からすると、人と人とのコミュニケーションが、相手を気遣う心、人を愛する心を育みお互いを尊重できるという事。輝くダイヤモンドはダイヤモンドで磨くと聞いたことがある。人間も人間の中でしか磨けない。小さな挨拶から対話まで当たり前のことを実践したい。人間社会で生きる我々だから絶えず心のどこかに留

最高の仲間たち

話が変わるが、阪神淡路大震災当時、校長先生をなされたご婦人の話を聞く機会があった。不明者の捜索

と負傷者の手当て、火災の消火などできる人が自主的に行っていた。避難所ではプライベートもなく24時間一緒の生活。中学生が物資を運び、食物を分け合い、ご老人子ども達を優先する。大きな震災を経験していない私が聞いてもその苛酷さが伝わり心を痛めた。その状況の中で活きたのが、日頃のご近所付き合いだったそうだ。「お隣さんは生きていますか？ あそこが家族の子どものがいな。」など。

二つの事例に共通するのがコミュニケーションだ。すぐ考えさせられた。改めて自分に置き換えてみると反省することは多かろう。このことに触れさせてもらった発端がPTA活動だった。今では会長になって良かったと思う。それは子どもに自慢できる「最高の仲間達」と出会えたから。

日P推薦映画

はさみ

美容専門学校を舞台にした作品は日本映画としては初となります。

【キャスト】
池脇千鶴 徳永えり 窪田正孝 なんしい(大好物) 綾野剛 石丸謙二郎 鳥丸せつこ 竹下景子

【監督】
光石富士朗

【脚本】
光石富士朗・木田紀生

中学生・青年・成人・家庭向け

頑張る人、頑張りたい人、すべての人に贈る人生の応援歌。

未来の理容師、美容師を育てるために夢を持って専門学校の教壇に立っている久沙江。学生たちも未来の自分に思いを馳せて夢を抱いている。はさみ？ ハサミを使ったカットの技術に自信が持たなくて不登校きみの学生、複雑な家庭環境に思い悩む授業に身が入らない学生。奮闘努力の甲斐あって久沙江はそんな彼ら、彼女らを立派に巣立たせることができるのだろうか？

過去には「パーバー吉野」など理容室、美容室を舞台にした映画はいくつも製作されてきましたが、理容



そよ風通信

コミュニティ・スクールを 基盤とした 小・中一貫教育の推進

—東京都三鷹市の実践—

活用して、小学校六年生と中学校一年生が一緒に学んでいくためである。コミュニティ・スクールの委員会のメンバーは、十六の講座を開設し、児童・生徒の希望を中心とした講座に、どの講座にも三校の代表、保護者代表、学校関係者、計二十名で構成されている。

月一回程度、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学内の運営に関することなどの承認を得たり、さまざまな課題等について協議したりしている。

毎年度、コミュニティ・スクール委員会は学内評価(地域・保護者・児童・生徒が実施)を行い、成果や課題を洗い出し、次年度の「学内マニフェスト」を作成し、これをもとに学内運営を行っている。

6. おわりに

本校は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」をスタートさせて五年目を迎えている。

この間の取り組みを通して、不登校の児童・生徒の減少、学力の向上などが見られる。また、教員の意識改革、授業改善、小学校と中学校の教員の相互理解が図られるようになったり、小学校と中学校がともに子どもを育てる意識が向上したりしている。

今後、これまでの成果も踏まえつつ、更に充実した学内づくりを推進していく。

Column 学校の窓から



シリーズ④

三鷹市では、質の高い教育の提供を市内のどの学校においても保証すること、地域全体で子どもを育てることを基本としており、学校自由選択制は導入していない。

3. 七つの学園(小・中一貫教育)

中学校区を基本として、七つの学園があり、各学園は、一つの中学校と二つの小学校(二学園だけ三つの小学校で構成されている。また、一つの小学校の卒業生は全て同じ中学校に進学するようにしている。さらには、本市では、施設分離型の小・中一貫教育を実施しており、「強固な連携」と「ゆるやかな一貫」をめざしており、各学校に校長、副校長が配置されている。

各学園には、各校と校旗のほかに学園歌と学園旗もあり、学校行事の際に歌ったり、掲揚したりもしている。

(3)小六中一交流学習

この取り組みは導入して二年目を迎えている。総合的な学習の時間を

が、相互に年に最低二回は他校の授業補助に入ることにしている。

(2)学園研究

三校で月一回、合同研究会を行っている。

今年度は、中学校の九教科に「生き方」を加え、十部会をつくり、全ての部会に三校の教員が入るようになり、各学園で一回ずつ、部会ごとに研究授業を行うことになっている。

本学園では、学園を構成している三つの学校の学校運営協議会委員を全て同一の方々にお願いしている。学校単位ではな

く、あくまで学園という単位で捉え、考え、対応していくためである。コミュニティ・スクールの委員会のメンバーは、十六の講座を開設し、児童・生徒の希望を中心とした講座に、どの講座にも三校の代表、保護者代表、学校関係者、計二十名で構成されている。

月一回程度、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学内の運営に関することなどの承認を得たり、さまざまな課題等について協議したりしている。

毎年度、コミュニティ・スクール委員会は学内評価(地域・保護者・児童・生徒が実施)を行い、成果や課題を洗い出し、次年度の「学内マニフェスト」を作成し、これをもとに学内運営を行っている。

6. おわりに

本校は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育」をスタートさせて五年目を迎えている。

この間の取り組みを通して、不登校の児童・生徒の減少、学力の向上などが見られる。また、教員の意識改革、授業改善、小学校と中学校の教員の相互理解が図られるようになったり、小学校と中学校がともに子どもを育てる意識が向上したりしている。

今後、これまでの成果も踏まえつつ、更に充実した学内づくりを推進していく。

本紙332号では、優良子どもたちへのより良い環境作りのために、時間と労力を惜しまない先陣方に敬意と感謝を申し上げます。PTAの活動は人と人と

担うことができ感謝です。毎回、赤坂まで来ていながら往復だけなので、そろそろ探検しようかなと、みんなで計画しています。